

第1回 臨時調査(最低賃金一元化)結果

広島県中小企業団体中央会

全国中小企業団体中央会では、今後の中小企業施策にタイムリーに活用・反映することを目的に、全国各地の中小企業団体の皆様の「生の声」を収集する臨時調査を開始しています。

その第1回臨時調査のテーマは、「最低賃金全国一元化」でした。

現在、「最低賃金全国一元化」が、デフレからの完全脱却、東京への一極集中回避等に向けて地域間格差をなくし最低賃金を全国一元化すべきという観点から議論されています。

都道府県ごとの地方最低賃金審議会が地域経済の実態を踏まえて改定額を定める現在の地域別最低賃金制度を全国一律化することについて、情報連絡員の方々を対象に調査を実施しました。

■ 調査期間: 令和3年5月31日～6月14日

■ 全体集計結果

「反対」の割合が52.7%と過半数を超え、「賛成」の割合12.6%を大きく上回った一方で、「どちらともいえない」と「不明、又は、わからない」の合計が34.7%と約1/3を占めている。

